

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
運動器の診断1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	1期	林 一徳		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	柔道整復術の適応			座学	1	10	
科目概要							
運動器の疾患と傷害の内容について正しく理解し、行うべき治療について適切に判断する。 重度外傷について正しく理解する。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標		臨床において外傷の対応を正しく行えるようになるために、体幹部を中心に適正な病態を把握し、柔道整復術の適否を考える。 外傷以外の運動器障害、疾患を正確に把握する。					
<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容を、客観的な指標(合格基準)		1. 診断を把握するため、その運動器の構造を説明できる。 2. 症状をとらえ、鑑別ができる。 3. 診断に伴い、柔道整復術の適応であるか考えることができる。 4. 他の医療機関へ紹介するか否かの見極めができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学を正確理解し、身に付ける。医学的な新しい知識について関心を抱く。							
教科書・参考書							
1. 全国柔道整復学校協会監修「整形外科学」改訂第4版 2. 医療の中の柔道整復							
受講上の注意							
私語厳禁 トイレなどへの入室は無断で良い。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	2年4期試験解説、パワーポイントによる視覚授業 1. 骨端症 四肢循環障害 2. 外出血を伴う損傷			1.P124~133 2.P.35~41	試験問題 教科書 補足プリント		
第2回	1. 四肢循環障害 神経筋疾患 2. 病的骨折および脱臼			1.P133~140 2.P.43~46	教科書 補足プリント		
第3回	1. 腕神経叢 2. 意識障害を伴う損傷			1.P140~148 2.P.47~52	教科書 補足プリント		
第4回	1. 体幹・頸部解剖・外傷・損傷 2. 急性硬膜外血腫			1.P149~156 2.P.52~56	教科書 補足プリント		
第5回	1. 斜頸・胸部・腰部 2. 脊髄症状のある損傷			1.P156~163 2.P.57~61	教科書 補足プリント		
第6回	1. 腰部 2. 非骨傷性胸椎、腰椎部脊髄損傷			1.164~69 2.P.61~66	教科書 補足プリント		
第7回	1. 肩関節・肩甲帯の損傷 2. 内臓損傷の合併が疑われる損傷			1.P170~177 2.P.67~72	教科書 補足プリント		
第8回	1. 肩甲帯の損傷 2. 高エネルギー外傷			1.P177~184 2.P.73~75	教科書 補足プリント		
第9回	視覚授業 1. 肩甲帯の損傷			1.184~187	教科書 補足プリント		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
大学の医学部を卒業以来、運動器の診療と研究に携わって40年の経験から、運動器の診断について講義します。							
メールアドレス							
質問等は授業後に対応							